

大月ウインドファーム見学記

近藤 康夫

2009年4月18日(土)、好天の朝8時に車で自宅を発って、高速道路を西予市まで走り、宇和島市、高知県宿毛市を経て、高知県幡多郡大月町にある「大月ウインドファーム」を見学した。走行時間は約4時間、距離にして220km、足摺岬まであと30kmという場所にある。予めインターネットの航空写真から、その場所を確認し、道路も見当をつけていた。航空写真の左中ほどに大月ウインドファームに点在する12機の風車の立地場所が見える。

帰りに気付いたのであるが、宿毛市の「道の駅すくも」から、海を隔てて遠望できる。

宿毛市小筑紫地区から旧道を通って大月町芳ノ澤に入ると、正面の山頂に風車の列を眺めることができる。

工事用取り付け道路と思われるところをを入って行ったのであるが、工事現場入り口で通行止めとなっていて、車は進入禁止であった。

高知県幡多郡大月町大字芳ノ澤周辺の地図



大月ウインドファームの航空写真



ここまで着来て、引き返す訳にもいかず、止むを得ず「関係者以外立ち入り禁止」の看板を無視して、こっそりと侵入した。（関係者の方々、ごめんなさい。風車が大好きな男なのです。）

弁当を持って急な工事用道路を徒歩で登ること 30 分、最初の 1 号機に辿り着いた。林の中から巨体を見せて、出迎えてくれた。何か月振りかで、風車とのご対面である。



同行の妻と 1 号機の根元で食事をした後、2、3 号機まで歩いて、12 号機までの全ての風車が確認できた。写真と VTR の撮影をしたが、植林された尾根に点在している風車群は、木立に遮られて現地での眺望は、いま一つというところであった。



宿毛湾を見下ろす標高 300m 程度の山頂に、1000kW の風車が 12 基、約 3.8km の間にほぼ一列に並んでいる。

羽の直径 61m、回転速度約 20rpm、三菱重工業製である。



大月ウインドファームを見学して、風車の騒音が小さいと感じた。風車の間隔がゆったりとして、植林が音を遮っているのかもしれない。

工事用道路が、急な植林山地を削ったままであるから、土砂崩れの恐れもあって、一般車両の立ち入り禁止をしていることは理解できる。



通行道路の安全が確保できて、足摺岬を訪れる人々が、風力発電施設の見学もできれば、なお良いと思われる。

帰りは芳ノ澤からパスも走っている広い道路を通過して、大月町役場の少し北辺りで 321 号線に出た。

足摺岬まで約 30km の地点まで来たのだが、まだ見ぬ足摺を後に、帰路についた。

